

VMware Horizon HTML Access ユーザー ガイド

2020 年 3 月

VMware Horizon HTML Access 5.4

VMware Horizon 7 7.12

最新の技術ドキュメントは、VMware の Web サイト (<https://docs.vmware.com/jp/>)

VMware, Inc.
3401 Hillview Ave.
Palo Alto, CA 94304
www.vmware.com

ヴィエムウェア株式会社
105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5
浜松町スクエア 13F
www.vmware.com/jp

Copyright © 2013-2020 VMware, Inc. All rights reserved. [著作権および商標情報](#)。

目次

1	VMware Horizon HTML Access ユーザー ガイド	5
2	ログイン方法	6
3	リモート デスクトップおよび公開アプリケーションへの接続	7
	リモート デスクトップまたは公開アプリケーションへの接続	7
	自己署名付ルート証明書の信頼	9
	Workspace ONE モードでのサーバへの接続	10
	公開アプリケーションへの接続に非認証のアクセスを使用する	10
	タイム ゾーンの設定	11
	H.264 デコードの許可	12
	ログオフまたは切断	12
4	リモート デスクトップと公開アプリケーションの使用	14
	サイドバーの使用	14
	全画面表示モードの使用	17
	テキストのコピーおよび貼り付け	17
	コピー アンド ペースト ウィンドウの使用	18
	リモート デスクトップまたは公開アプリケーションとクライアントの間でのファイルの転送	20
	リモート デスクトップまたは公開アプリケーションからクライアント システムへのファイルのダウンロード	20
	クライアント システムからリモート デスクトップまたは公開アプリケーションへのファイルのアップロード	21
	リモート デスクトップまたは公開アプリケーションからの印刷	21
	VMware Integrated Printing 機能の印刷設定を行う	22
	DPI 同期の使用	22
	リモート デスクトップ セッションの共有	23
	リモート デスクトップ セッションに参加するユーザーの招待	23
	共有リモート デスクトップ セッションの管理	25
	リモート デスクトップ セッションへの参加	26
	異なるクライアント デバイスでの公開アプリケーションの複数のセッションの使用	27
	ショートカット キーの組み合わせ	27
	リモート デスクトップと公開アプリケーションのサウンドの調整	31
5	外部デバイスの使用	32
	国際キーボード	32
	画面解像度の設定	33
	複数のモニターの使用	33

[Web カメラとマイクでリアルタイム オーディオ ビデオ機能を使用](#) 34

6 Horizon Client のトラブルシューティング 36

[リモート デスクトップの再起動](#) 36

[リモート デスクトップまたは公開アプリケーションのリセット](#) 37

VMware Horizon HTML Access ユーザーガイド

1

この『VMware Horizon HTML Access ユーザーガイド』では、クライアントシステムにソフトウェアをインストールせずに、VMware Horizon® HTML Access™ からリモート デスクトップや公開アプリケーションに接続し、使用方法について説明します。

オペレーティングシステムに Horizon Client ソフトウェアがインストールされていないクライアントデバイスや、インストールできないクライアントデバイスを使用する場合は、サポートされる Web ブラウザのいずれかで HTML Access を使用し、リモート デスクトップや公開アプリケーションにアクセスします。Horizon Client ソフトウェアはより優れた機能と性能を提供します。

以下の Web ブラウザがサポートされます。

ブラウザ	バージョン
Chrome	75、76
Internet Explorer	11
Safari	12
Firefox	67、68
Microsoft Edge	42、44
VMware Workspace ONE Web	Apple App Store (iOS デバイス) または Google Play Store (Android デバイス) にある最新バージョン。

注：

- Android デバイスの Chrome は、Windows キー、マルチモニター、システムへのコピーと貼り付け、ファイル転送、印刷、H.264 デコード、認証情報のクリーンアップ、外部マウスをサポートしていません。ソフトウェア キーボードで次のキーとキーの組み合わせは機能しません。Del、Ctrl+A、Ctrl+C、Ctrl+V、Ctrl+X、Ctrl+Y、Ctrl+Z。
- モバイル デバイスの Safari は、Windows キー、マルチモニター、システムへのコピーと貼り付け、ファイル転送、印刷、H.264 デコード、認証情報のクリーンアップをサポートしていません。

リモート デスクトップや公開アプリケーションにログインして接続する方法については、[2 章 ログイン方法](#)を参照してください。リモート デスクトップにインストールされたソフトウェアの詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

ログイン方法

2

リモート デスクトップまたは公開アプリケーションにログインして接続する前に、社内のシステム管理者がユーザーアカウントを設定する必要があります。システム管理者がユーザー アカウントを設定していない場合は、Horizon Client または HTML Access を使用できません。

Horizon Client からサーバ名とドメイン名を求められた場合は、システム管理者に入力するサーバ名と選択するドメインを問い合わせてください。一部の企業では、Horizon Client により、正しいサーバに自動的に接続され、正しいドメインが選択されます。

ユーザー名やパスワードがわからない場合、またはパスワードのリセット方法がわからない場合は、社内のシステム管理者に問い合わせてください。

ログインして作業を始める準備が整ったら、[リモート デスクトップまたは公開アプリケーションへの接続](#)を参照してください。

リモート デスクトップおよび公開アプリケーションへの接続

3

Horizon Client を使用すると、ローカル クライアント デバイスからリモート デスクトップや公開アプリケーションに簡単にアクセスして、作業を行うことができます。

この章には、次のトピックが含まれています。

- リモート デスクトップまたは公開アプリケーションへの接続
- 自己署名付ルート証明書の信頼
- Workspace ONE モードでのサーバへの接続
- 公開アプリケーションへの接続に非認証のアクセスを使用する
- タイム ゾーンの設定
- H.264 デコードの許可
- ログオフまたは切断

リモート デスクトップまたは公開アプリケーションへの接続

リモート デスクトップまたは公開アプリケーションに接続するには、サーバ名を指定し、ユーザー アカウントの認証情報を入力する必要があります。

前提条件

システム管理者から以下の情報を取得します。

- VPN (Virtual Private Network) 接続をオンにするかどうかに関する指示。
- サーバに接続するために使用するサーバ名。
- ポートが 443 でない場合には、サーバとの接続に使用するポート番号。
- Active Directory のユーザー名とパスワード、RSA SecurID のユーザー名とパスコード、または RADIUS 認証情報などのログインに使用する認証情報。
- ログインのためのドメイン名。

手順

- 1 VPN 接続が必要な場合、VPN をオンにしてください。

- 2 ブラウザを開き、システム管理者の指示に従ってサーバの名前を入力します。

https と入力し、サーバの完全修飾ドメイン名 (FQDN) を使用します (例: **https://view.company.com**)。

サーバ接続は常に TLS を使用します。TLS 接続のデフォルト ポートは 443 です。サーバがデフォルト ポートを使用するように構成されていない場合、**view.company.com:1443** の形式を使用します。

- 3 VMware Horizon Web ポータル ページが表示されたら、次のいずれかのオプションを選択します。

次の表に、使用可能なオプションを示します。使用可能なオプションは、接続するサーバと環境の構成方法によって異なります。

オプション	説明
ネイティブ クライアントの起動	Horizon Client を開始します。
ブラウザ アクセス	HTML Access を開始します。
VMware Horizon HTML Access	HTML Access を開始します。
VMware Horizon Client のインストール	VMware Horizon Client のダウンロード ページが開きます。ここで、クライアント システムの Horizon Client インストーラをダウンロードできます。 注： このオプションは、オプションではなく、リンクとして表示されることがあります。

選択内容を保存するチェック ボックスを選択すると、同じクライアント システムで同じタイプのブラウザにサーバ名を入力したときに VMware Horizon Web ポータル ページをスキップできます。後で変更を行う場合は、HTML Access の [設定] ページの [デフォルトのランディング ページをリストアする] 設定を使用して、VMware Horizon Web ポータル ページを表示します。

- 4 RSA SecurID の認証情報または RADIUS の認証証明書の入力を求められた場合、認証情報を入力して [ログイン] をクリックします。

パスコードには、PIN とトークンで生成された番号が含まれる場合があります。

- 5 再度、RSA SecurID 認証情報または RADIUS 認証情報を入力するダイアログが表示されたら、トークンで次に生成された番号を入力します。

PIN は入力しないでください。過去に生成され、入力したのと同じ番号も入力しないでください。必要に応じて、新しい番号が生成されるのを待ちます。この手順は、最初のパスコードの入力をミスした場合、または RSA サーバの設定が変更された場合にのみ、必要になります。

- 6 ユーザー名とパスワードの入力を要求されたら、Active Directory 認証情報を入力します。

a システム管理者に指示されたようにユーザー名とパスワードを入力します。

b (オプション) システム管理者の指示に従って、ドメインを選択します。

ドメインを選択できない場合は、*domain\username* または *username@domain* の形式でユーザー名を入力する必要があります。

c ログインします。

- 7 リモート デスクトップまたは公開アプリケーションに接続するには、デスクトップまたはアプリケーションの選択ウィンドウで、接続するデスクトップまたはアプリケーションのアイコンをクリックします。

ブラウザ ウィンドウでリモート デスクトップまたは公開アプリケーションを開きます。サイドバーを開くには、ブラウザ ウィンドウの左側にあるタブをクリックします。サイドバーから、他のリモート デスクトップまたは公開アプリケーションを開いたり、設定を構成したりできます。また、テキストのコピー アンド ペーストなどの操作も行うことができます。

- 8 (オプション) リモート デスクトップまたは公開アプリケーションをお気に入りとしてマークするには、デスクトップとアプリケーションの選択ウィンドウでリモート デスクトップまたは公開アプリケーションのアイコンの内側にある灰色の星をクリックします。

星のアイコンが灰色から黄色に変わります。次回ログインするときに、ブラウザ ウィンドウの右上部分にある星のアイコンをクリックすると、お気に入りのみを表示できます。

次のステップ

リモート デスクトップまたは公開アプリケーションに接続した後にすぐ切断され、リンクをクリックしてセキュリティ証明書を受け入れるよう求めるプロンプトが表示された場合、ユーザーはその証明書を信頼するかどうかを選択できます。 [自己署名付ルート証明書の信頼](#)を参照してください。

リモート デスクトップまたは公開アプリケーションのタイムゾーンが、クライアント デバイスで設定されたタイムゾーンを使用していない場合は、タイム ゾーンを手動で設定できます。 [タイム ゾーンの設定](#)を参照してください。

自己署名付ルート証明書の信頼

リモート デスクトップまたは公開アプリケーションに初めて接続したときに、リモート マシンで使用する自己署名証明書を受け入れるように指示するプロンプトが表示される場合があります。リモート デスクトップまたは公開アプリケーションに接続する前に、証明書を信頼する必要があります。

ほとんどのブラウザでは、自己署名証明書を永続的に信頼するオプションを利用できます。証明書を永続的に信頼する場合は、ブラウザを再起動するときに毎回証明書を確認する必要があります。Safari ブラウザを使用している場合、接続を確立するにはセキュリティ証明書を永続的に信頼する必要があります。

手順

- 1 信頼されていない証明書の警告や、接続がプライベートではないという警告がブラウザに表示される場合、証明書を調べて、ユーザーの企業によって使用されている証明書と一致しているか確認します。

システム管理者への連絡が必要になる場合があります。たとえば、Chrome では、次の手順を使用します。

- a アドレス バーのロック アイコンをクリックします。
- b [証明書情報] リンクをクリックします。
- c 証明書がユーザーの企業で使用されている証明書と一致しているか確認します。

システム管理者への連絡が必要になる場合があります。

2 セキュリティ証明書を受け入れます。

証明書を受け入れるあるいは常に信頼するためのプロンプトは各ブラウザで異なります。たとえば、Chrome でブラウザ ページの [詳細] リンクをクリックして、[*server-name* にアクセスする (安全ではありません)] をクリックすることができます。

Safari では、次の手順で証明書を永続的に信頼します。

- a 信頼されない証明書のダイアログ ボックスが表示されたら、[証明書の表示] ボタンをクリックします。
- b [常に信頼] チェック ボックスを選択し、[続ける] をクリックします。
- c 入力を求められたらパスワードを入力し、[設定の更新] をクリックします。

結果

リモート デスクトップまたは公開アプリケーションが起動します。

Workspace ONE モードでのサーバへの接続

Horizon 7 バージョン 7.2 以降では、Horizon 管理者が Connection Server インスタンスで Workspace ONE モードを有効にできます。

Workspace ONE モードが有効な場合、Workspace ONE Web ポータルを介してサーバに接続できます。HTML Access 経由でサーバに接続しようとする、Workspace ONE Web ポータルにリダイレクトされます。Workspace ONE Web ポータル経由でサーバに接続すると、Workspace ONE Web ポータル経由でのみリモート デスクトップと公開アプリケーションを開始できます。

Workspace ONE モードが有効になっている場合、使用資格のあるリモート デスクトップと公開アプリケーションがサイドバーに表示されません。代わりに、現在実行中のデスクトップと公開アプリケーションのみが表示されます。

Workspace ONE モードを有効にすると、次の問題が発生することがあります。

- HTML Access を介してサーバに接続できません。サーバに接続できないか、サーバが別のアプリケーションまたはサーバのログイン認証情報を想定していることを示すメッセージが表示される場合があります。
- Workspace ONE Web ポータル経由でリモート デスクトップまたは公開アプリケーションを開始すると、HTML Access でリモート デスクトップと公開アプリケーションを表示または開始できません。

公開アプリケーションへの接続に非認証のアクセスを使用する

非認証アクセス ユーザーのアカウントを使用すると、サーバに匿名でログインし、公開アプリケーションに接続できます。

前提条件

システム管理者から以下の情報を取得します。

- サーバに接続するために使用するサーバ名。
- 匿名でログインするために使用する非認証アクセス ユーザー アカウント。

手順

- 1 非認証アクセスを許可しているサーバに接続するには、ブラウザを開き、URI (Uniform Resource Identifier) を入力します。

次のいずれかの URI 構文を使用します。

- `https://authority-part?unauthenticatedAccessEnabled=true`
- `https://authority-part?unauthenticatedAccessEnabled=true&unauthenticatedAccessAccount=anonymous_account`

authority-part はサーバ アドレスです。必要に応じて、デフォルト以外のポート番号も指定できます。ポート番号を指定する必要がある場合は、*server-address:port-number* を入力します。

anonymous_account は、非認証アクセス ユーザー アカウントです。

接続は常に TLS を使用します。TLS 接続のデフォルト ポートは 443 です。サーバがデフォルト ポートを使用するように構成されていない場合、次の形式を使用します。**horizon.company.com:1443**。

- 2 (オプション) 非認証アクセス ユーザー アカウントを URI に指定していない場合、必要であれば、[ユーザー アカウント] ドロップダウン メニューから非認証アクセス ユーザー アカウントを選択して、[送信] をクリックします。

使用可能な非認証アクセス ユーザー アカウントが 1 つしかない場合、このユーザー アカウントがデフォルトで選択されます。

アプリケーション選択ウィンドウが表示されます。

- 3 アクセスする公開アプリケーションのアイコンをクリックします。

公開アプリケーションがブラウザに表示されます。ナビゲーション サイドバーも利用できます。ブラウザ ウィンドウの左側にあるタブをクリックして、サイドバーを表示できます。サイドバーを使用すると、他の公開アプリケーションへのアクセス、[設定] ウィンドウの表示、テキストのコピー アンド ペーストなどの操作の実行が可能になります。

注： 非認証のアプリケーション セッションに再接続することはできません。クライアントから切断されると、ローカルのユーザー セッションから自動的にログオフします。

タイム ゾーンの設定

リモート デスクトップまたは公開アプリケーションのタイムゾーンには、ローカル システムのタイムゾーンが自動的に設定されます。

ただし、HTML Access で、特定の夏時間ポリシーのためタイムゾーンを正しく特定できない場合は、タイムゾーンを手動で設定する必要があります。

リモート デスクトップまたは公開アプリケーションに接続する前に、適切なタイムゾーンを手動で設定するには、デスクトップおよびアプリケーション選択ウィンドウの右上隅にある [設定] ツールバー ボタンをクリックします。

[設定] ウィンドウで [タイム ゾーンを自動的に設定する] オプションをオフにして、ドロップダウン メニューからタイムゾーンを 1 つ選択します。選択した値は、リモート デスクトップまたは公開アプリケーションに接続するときに優先的に使用されるタイムゾーンとして保存されます。

リモート デスクトップまたは公開アプリケーションに接続した後に正しいタイムゾーンを手動で設定するには、デスクトップおよびアプリケーション選択ウィンドウに戻り、現在のタイムゾーン設定を変更します。

サイドバーからアクセスできる [設定] ウィンドウでは、[タイムゾーンを自動的に設定する] オプションは使用できません。

注： [タイムゾーンを自動的に設定する] オプションが **true** に設定されている場合、Android デバイスで Chrome ブラウザを使用するときに Android のシステムのタイムゾーンを変更しても、新しいタイムゾーンはリモート デスクトップに自動的に同期されません。この問題は、Android システムの Chrome の制約で発生します。選択したタイムゾーンに同期するには、Android デバイスと Chrome ブラウザを再起動する必要があります。

H.264 デコードの許可

Chrome ブラウザを使用している場合、リモート デスクトップや公開アプリケーション セッションにクライアントで H.264 デコードを許可できます。

H.264 はビデオ圧縮規格で、デジタル ビデオの保存または転送時にビデオを容量の少ない形式に変換します。

H.264 デコードを許可すると、エージェントが H.264 エンコードをサポートする場合に、HTML Access クライアントは H.264 デコードを使用します。エージェントが H.264 エンコードをサポートしていない場合、HTML Access は JPEG/PNG デコードを使用します。

リモート デスクトップや公開アプリケーションに接続している場合、サイドバーから利用できる [設定] ウィンドウの [H.264 デコードを許可する] オプションをオンにして H.264 デコードを許可できます。新しい設定を有効にするには、リモート デスクトップや公開アプリケーションを切断してから再接続する必要があります。

リモート デスクトップや公開アプリケーションに接続していない場合、デスクトップとアプリケーションの選択ウィンドウの右上隅にある [設定] ツールバー ボタンをクリックして、[設定] ウィンドウで [H.264 デコードを許可する] オプションをオンにできます。設定を変更した後に接続したセッションで、新しい設定が有効になります。

ログオフまたは切断

ログオフせずにリモート デスクトップから切断すると、リモート デスクトップ内のアプリケーションは開いたままになります。サーバから切断し、公開アプリケーションを実行したままにすることもできます。

手順

- ◆ サーバからログアウトして、リモート デスクトップから切断（ただしログアウトはしません）するか、公開アプリケーションを終了します。

オプション	アクション
リモート デスクトップまたは公開アプリケーションに接続する前に、デスクトップとアプリケーションの選択ウィンドウから	ウィンドウの右上隅にある [ログアウト] ツールバー ボタンをクリックします。
リモート デスクトップや公開アプリケーションに接続したときにサイドバーから	サイドバーの上部にある [ログアウト] ボタンをクリックします。

- ◆ 公開アプリケーションを閉じます。

オプション	アクション
公開アプリケーションから	通常の方法で公開アプリケーションを終了します。たとえば、公開アプリケーション ウィンドウの隅の [X]（閉じる）ボタンをクリックします。
サイドバーから	サイドバーの [実行中] リストにある公開アプリケーション名の横にある [X] をクリックします。

- ◆ リモート デスクトップからログオフまたは切断します。

オプション	アクション
リモート デスクトップから	ログオフするには、Windows の [スタート] メニューを使用してログオフします。
サイドバーから	<p>ログオフおよび切断するには、サイドバーの [実行中] リストにあるリモート デスクトップ名の横の [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[ログオフ] を選択します。リモート デスクトップで開いているファイルが、保存されずに終了します。</p> <p>ログオフせずに切断するには、[実行中] リストにあるリモート デスクトップ名の横の [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[閉じる] を選択します。</p> <p>注： Horizon 管理者は、切断時に自動的にログオフするようにリモート デスクトップを設定できます。その場合、リモート デスクトップで開いているアプリケーションは終了します。</p>

リモート デスクトップと公開アプリケーションの使用

4

Horizon Client の追加機能を使用すると、ローカル クライアント デバイスでリモート デスクトップや公開アプリケーションを使用できます。

この章には、次のトピックが含まれています。

- サイドバーの使用
- 全画面表示モードの使用
- テキストのコピーおよび貼り付け
- リモート デスクトップまたは公開アプリケーションとクライアントの間でのファイルの転送
- リモート デスクトップまたは公開アプリケーションからの印刷
- DPI 同期の使用
- リモート デスクトップ セッションの共有
- 異なるクライアント デバイスでの公開アプリケーションの複数のセッションの使用
- ショートカット キーの組み合わせ
- リモート デスクトップと公開アプリケーションのサウンドの調整

サイドバーの使用

リモート デスクトップまたは公開アプリケーションに接続したら、サイドバーを使用して、他のリモート デスクトップや公開アプリケーションを起動したり、実行中のリモート デスクトップと公開アプリケーションを切り替えたり、その他の操作を実行したりできます。

サイドバーは、リモート デスクトップや公開アプリケーションのウィンドウの左側に表示されます。サイドバーを表示または非表示にするには、サイドバーのタブをクリックします。このタブは上下にスライドできます。

実行中の公開アプリケーションで開いているドキュメントのリストを表示するには、[実行中] リストで公開アプリケーションの横にある拡張矢印をクリックします。

注： 2 台の異なるサーバで同じ公開アプリケーションからドキュメントを開いている場合、サイドバーの [実行中] リストに同じ公開アプリケーションが 2 回表示されます。

表 4-1. サイドバーの操作

アクション	手順
サイドバーを表示	リモート デスクトップまたは公開アプリケーションが開いている場合は、サイドバー タブをクリックします。サイドバーが開いている場合は、リモート デスクトップまたは公開アプリケーション ウィンドウで操作を実行できます。
サイドバーを非表示にする	サイドバー タブをクリックします。
リモート デスクトップまたは公開アプリケーションを開始する	サイドバーの [使用可能] リストにあるリモート デスクトップまたは公開アプリケーションの名前をクリックします。リモート デスクトップが最初に表示されます。
リモート デスクトップまたは公開アプリケーションを検索する	<ul style="list-style-type: none"> ■ [検索] ボックスをクリックして、リモート デスクトップまたは公開アプリケーションの名前を入力します。 ■ リモート デスクトップまたは公開アプリケーションを開始するには、検索結果の名前をクリックします。 ■ サイドバーのホーム表示に戻るには、検索ボックスの [X] をタップします。
お気に入りのリモート デスクトップまたは公開アプリケーションのリストを作成する	サイドバーの [使用可能] リストにあるリモート デスクトップや公開アプリケーションの名前の横にある灰色の星をクリックします。次に、[使用可能] の横にある [お気に入りを表示] ツールバー ボタン (星のアイコン) をクリックして、お気に入りだけのリストを表示できます。
リモート デスクトップまたは公開アプリケーションを切り替える	サイドバーの [実行中] リストにあるリモート デスクトップまたは公開アプリケーションの名前をクリックします。
公開アプリケーションの複数セッション モードの有効化	サイドバーにある [メニューを開く] ボタンをクリックして、[設定] をクリックし、[マルチ起動] 設定までスクロールします。詳細については、 異なるクライアント デバイスでの公開アプリケーションの複数のセッションの使用 を参照してください。
[コピーおよび貼り付け] パネルを開く	サイドバーの上部にある [コピーおよび貼り付け] ボタンをクリックします。このボタンを使用して、ローカル クライアント システムにあるアプリケーションにテキストをコピーしたり、このアプリケーションからテキストをコピーしたりします。詳細については、 テキストのコピーおよび貼り付け を参照してください。iOS Safari では、コピーおよび貼り付けの機能がサポートされていないため、このボタンを使用できません。
[転送ファイル] ウィンドウを開く	リモート デスクトップまたは公開アプリケーションに対してファイルのダウンロードまたはアップロードを行うには、サイドバーの上部にある [ファイル転送] ボタンをクリックします。詳細は、 リモート デスクトップまたは公開アプリケーションからクライアント システムへのファイルのダウンロードおよびクライアント システムからリモート デスクトップまたは公開アプリケーションへのファイルのアップロード を参照してください。
Command + A、Command + C、Command + V、および Command + X を有効にする	このオプションは、Mac を使用している場合にのみ [設定] ウィンドウに表示されます。サイドバーの上部にある [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[設定] をクリックします。この機能が有効になっていると、Mac の Command キーがリモートの Windows デスクトップやアプリケーションの Ctrl キーにマッピングされます。たとえば、Mac キーボードの Command + A キーは、リモートの Windows デスクトップやアプリケーションで Ctrl + A キーを押したときと同じ効果になります。
実行中のリモート デスクトップを閉じる	<p>サイドバーの [実行中] リストにあるリモート デスクトップ名の横の [メニューを開く] ボタンをクリックして、アクション選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [閉じる] を選択すると、オペレーティング システムからログアウトせずに、リモート デスクトップから切断します。Horizon 管理者は、切断時に自動的にログオフするようにリモート デスクトップを設定できます。この場合、開いているアプリケーションで保存されていない変更は失われます。 ■ [ログオフ] を選択すると、オペレーティング システムからログアウトして、リモート デスクトップから切断します。開いているアプリケーションで保存されていない変更は失われます。

表 4-1. サイドバーの操作（続き）

アクション	手順
動作中の公開アプリケーションを閉じる	<p>サイドバーの [実行中] リストにある公開アプリケーション名のファイル名の横にある [X] をクリックします。公開アプリケーション名の横にある [X] をクリックして、公開アプリケーションを終了して、その公開アプリケーションの開いているすべてのファイルを閉じます。</p> <p>これらのファイルへの変更を保存するように求められます。</p>
リモート デスクトップのリセット	<p>サイドバーの [実行中] リストにあるリモート デスクトップ名の横の [メニューを開く] ボタンをクリックして、[リセット] を選択します。リモート デスクトップで開いているファイルが、保存されずに終了します。リモート デスクトップをリセットできるのは、Horizon 管理者がこの機能を有効にしている場合のみです。</p>
リモート デスクトップの再起動	<p>サイドバーの [実行中] リストにあるリモート デスクトップ名の横の [メニューを開く] ボタンをクリックして、[再起動] を選択します。通常、リモート デスクトップのオペレーティング システムは、再起動の前に未保存データを保存するように求めます。リモート デスクトップを再起動できるのは、Horizon 管理者がこの機能を有効にしている場合のみです。</p>
実行中のすべての公開アプリケーションのリセット	<p>サイドバーの上部にある [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[設定] をクリックし、[実行中のすべてのアプリケーションをリセットします] をクリックします。保存されていないすべての変更は失われます。</p>
Windows キーを含むキーの組み合わせを使用する	<p>サイドバーの上部にある [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[設定] をクリックし、[デスクトップで Windows キーを有効にします] をオンにします。詳細については、ショートカット キーの組み合わせを参照してください。</p>
現在の作業領域に Ctrl+Alt+Del を送信する	<p>サイドバーの上部にある [Ctrl+Alt+Delete を送信] ツールバー ボタンをクリックします。</p>
サーバからの切断	<p>サイドバーの上部にある [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[ログアウト] をクリックします。</p>
高解像度ディスプレイ マシンでの高解像度モードの使用 (Retina 搭載の Macbook Pro など)	<p>サイドバーの上部にある [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[設定] をクリックし、[高解像度モード] をオンにします。</p>
H.264 デコードを許可する	<p>サイドバーの上部にある [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[設定] をクリックし、[H.264 デコードを許可する] をオンにします。詳細については、H.264 デコードの許可を参照してください。</p>
複数のモニターの使用	<p>(Chrome バージョン 55 以降のみ) サイドバーの上部にある [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[表示設定] を選択します。詳細については、複数のモニターの使用を参照してください。</p>
ソフト キーボードの表示と消去	<p>(iOS Safari のみ) サイドバーの上部にあるキーボード アイコンをクリックします。また、3 本の指で画面をタップして、ソフト キーボードを表示または消去することも可能です。</p>
ヘルプ トピックを表示する	<p>サイドバーの上部にある [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[設定] をクリックし、[ヘルプ] をクリックします。サイドバーの上部にある Horizon のロゴをクリックして、[ヘルプ] をクリックします。</p>
[VMware Horizon Client のバージョン情報] ダイアログ ボックスを表示する	<p>サイドバーの上部にある [メニューを開く] ツールバー ボタンまたは Horizon のロゴをクリックして、[バージョン情報] をクリックします。サイドバーの上部にある Horizon ロゴをクリックします。</p>
リモート デスクトップや公開アプリケーションを全画面表示モードで表示する	<p>サイドバーの上部にある [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[全画面表示] をクリックします。</p>

表 4-1. サイドバーの操作（続き）

アクション	手順
全画面表示モードを終了する	サイドバーの上部にある [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[全画面表示モードを終了] をクリックします。
全画面表示モードでリモート デスクトップまたは公開アプリケーションに Esc を送信する	サイドバーの上部にある [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[ESC の送信] をクリックします。

全画面表示モードの使用

リモート デスクトップや公開アプリケーションを全画面表示モードで表示できます。

以下の状況では、全画面表示モードを使用できません。

- 複数のモニターを使用している。
- ブラウザが全画面表示モードで実行されているか、マウスのドラッグで最大化されている。
- Safari を使用している。

前提条件

リモート デスクトップまたは公開アプリケーションに接続します。

手順

- ◆ リモート デスクトップまたは公開アプリケーションを全画面表示モードで表示するに、サイドバーの上部にある [メニューを開く] ボタンをクリックし、[全画面表示] をクリックします。
- ◆ 全画面表示モードを終了するに、サイドバーの上部にある [メニューを開く] ボタンをクリックし、[全画面表示モードを終了] をクリックします。

または、クライアント システムのキーボードで Esc キーを押します。

テキストのコピーおよび貼り付け


リモート デスクトップまたは公開アプリケーションとクライアント デバイスとの間で、プレーン テキストと HTML 形式のリッチ テキストのコピー アンド ペーストを行うことができます。Horizon 管理者は、クライアント システムからリモート デスクトップまたは公開アプリケーションへのコピー アンド ペースト操作のみを許可する、リモート デスクトップまたは公開アプリケーションからクライアント システムへのコピー アンド ペースト操作のみを許可する、その両方を許可する、またはどちらも許可しないように、この機能を設定できます。

リッチ テキストをコピーして貼り付ける場合、次の制限があります。

- イメージのコピー アンド ペーストはサポートされません。
- クライアント デバイスから WordPad アプリケーションにリッチ テキストをコピーすると、プレーン テキストのみがコピーされ、貼り付けられます。

- Internet Explorer (IE)、Microsoft Edge または Safari ブラウザで HTML Access を使用する場合、リッチ テキストのコピー アンド ペーストはサポートされません。[コピーおよび貼り付け] ウィンドウを使用する必要があります。[コピー アンド ペースト ウィンドウの使用](#)を参照してください。
- Horizon 管理者は、コピー アンド ペースト操作で、グループ ポリシー設定を使用してクリップボードの形式を制限できます。HTML Access では、クリップボード内のテキストの転送のみをサポートするため、HTML Access ではテキスト フィルタだけが動作します。クリップボードの形式フィルタ ポリシー設定については、『Horizon 7 でのリモート デスクトップ機能の構成』を参照してください。

Chrome または Firefox ブラウザで HTML Access を使用し、クリップボード機能を使用する場合は、次のヒントを参考にしてください。

- リモート デスクトップまたは公開アプリケーションに初めて接続した場合、[クリップボード ユーザー ガイド] ダイアログ ボックスが表示されます。ダイアログ ボックスを閉じて再度表示しないようにするには、[OK] をクリックします。
- デフォルトでは、サイドバーでクリップボードのアイコン  が選択され、グレー表示されます。
 - クリップボードのアイコンが選択された状態で、リモート デスクトップまたは公開アプリケーションからテキストをコピーすると、ローカル クライアント システムのクリップボードにテキストをコピーすることを確認するダイアログ ボックスが表示されます。[OK] をクリックします。
 - クリップボードのアイコンが選択されていない場合、リモート デスクトップまたは公開アプリケーションからローカル クライアント システムのクリップボードにテキストをコピーするときに、確認のダイアログ ボックスは表示されません。
- サイドバーにあるクリップボードのアイコンの上にカーソルを置くと、クリップボード機能を説明するヒントが表示されます。

どのタイプのコピー アンド ペーストの操作でも、クリップボードは最大で 1 MB のデータを処理できます。プレーン テキストとリッチ テキスト データを合わせたサイズが最大クリップボード サイズより小さければ、フォーマットされたテキストが貼り付けられます。リッチ テキストは多くの場合に分割できないため、テキストとフォーマットのサイズが最大クリップボード サイズより大きい場合は、リッチ テキストが破棄されてプレーン テキストが貼り付けられます。1 回の操作では選択したフォーマット テキストすべてを貼り付けできない場合は、1 回の操作でコピー アンド ペーストを行うサイズを小さくする必要があります。

画像をコピーおよび貼り付けできません。リモート デスクトップとクライアント コンピュータのファイル システム間では、ファイルもコピー アンド ペーストできません。

注： iOS Safari と Android デバイスでは、コピー アンド ペースト機能がサポートされていません。

コピー アンド ペースト ウィンドウの使用

Internet Explorer (IE)、Microsoft Edge または Safari ブラウザでテキストをコピーして貼り付けるには、サイドバーの上部にある [コピーおよび貼り付け] ボタンを使用して [コピーおよび貼り付け] ウィンドウを表示します。

この手順では、[コピーおよび貼り付け] ウィンドウを使用して、クライアント システムの IE、Edge または Safari ブラウザからリモート デスクトップまたは公開アプリケーションにテキストをコピーしたり、リモート デスクトップのアプリケーションまたは公開アプリケーションからローカル クライアント システムにテキストをコピーする方法について説明します。

公開アプリケーション間またはリモート デスクトップ間でテキストのコピー アンド ペーストを行う場合は、通常と同じ操作でコピー アンド ペーストを実行できます。[コピーおよび貼り付け] ウィンドウを使用する必要はありません。

IE、Edge または Safari ブラウザを使用し、ローカル システムのクリップボードとリモート マシンのクリップボードを同期している場合にのみ、[コピーおよび貼り付け] ウィンドウが必要になります。

[コピーおよび貼り付け] ウィンドウには、コンテンツのコピー アンド ペーストが可能な方向を示す次のいずれかのメッセージが表示されます。

- このパネルを使用して、ローカルのクライアントとリモートデスクトップ/アプリケーション間にコピーおよび貼り付けします。
- このパネルを使用して、ローカルのクライアントからリモートデスクトップ/アプリケーションにコピーおよび貼り付けします。
- このパネルを使用して、リモートデスクトップ/アプリケーションからローカルのクライアントにコピーおよび貼り付けします。

前提条件

Mac を使用している場合、キーの組み合わせを使用して、テキストを選択、コピー、および貼り付ける際に、Command キーを Windows の Ctrl キーにマッピングする設定を有効にしていることを確認します。サイドバーにある [[設定] ウィンドウを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[Command + A、Command + C、Command + V、および Command + X を有効にする] をオンにします Mac の場合、このオプションは [設定] ウィンドウでのみ表示されます。

手順

- ◆ クライアント システムからリモート デスクトップのアプリケーション、またはクライアント システムから公開アプリケーションにテキストをコピーするには、次の手順を実行します。
 - a ローカル クライアント アプリケーションでテキストをコピーします。
 - b HTML Access でサイドバーを開き、サイドバーの上部にある [コピーおよび貼り付け] をクリックします。
[コピーおよび貼り付け] ウィンドウが表示されます。以前にコピーしたテキストがすでにウィンドウに表示されている場合、新しくコピーされたテキストを貼り付けると、そのテキストは置換されます。
 - c [コピーおよび貼り付け] ウィンドウにテキストを貼り付けるには、Ctrl+V キー（Windows の場合）または Command-V キー（Mac の場合）を押します。
「リモート クリップボードが同期されました」というメッセージが一時的に表示されます。
 - d テキストを貼り付けるアプリケーション内の場所をクリックして、Ctrl + V キーを押します。
テキストがアプリケーションに貼り付けされます。
- ◆ リモート デスクトップのアプリケーションからクライアント システム、または公開アプリケーションからクライアント システムにテキストをコピーするには、次の手順を実行します。
 - a アプリケーションでテキストをコピーします。
 - b HTML Access でサイドバーを開き、サイドバーの上部にある [コピーおよび貼り付け] をクリックします。
[コピーおよび貼り付け] ウィンドウが開き、貼り付けたテキストが表示されます。「リモート クリップボードが同期されました」というメッセージが一時的に表示されます。

- c テキストをもう一度コピーするには、[コピーおよび貼り付け] ウィンドウをクリックし、Ctrl+C キー（Windows の場合）または Command-C キー（Mac の場合）を押します。

このアクションを実行するとテキストは選択されず、テキストを選択することはできません。「クリップボード パネルからコピーされました」というメッセージが一時的に表示されます。

- d クライアント システムで、テキストを貼り付ける場所をクリックして、Ctrl + V キーを押します。

テキストは、クライアント システムのアプリケーションに貼り付けられます。

リモート デスクトップまたは公開アプリケーションとクライアントの間でのファイルの転送

ファイル転送機能を使用すると、リモート デスクトップまたは公開アプリケーションとクライアント システムの間でファイルを転送できます。

Horizon 管理者は、ファイルの転送を許可、禁止、または一方向のみ許可できる機能を設定できます。デフォルトはアップロードのみです。

この機能には次の制限があります。


- ダウンロードできるファイルは最大で 500 MB までです。アップロードできるファイルは最大で 2 GB までです。
- 32 ビット Internet Explorer 11 の場合、300 MB より大きなファイルのダウンロードは機能しない場合があります。この問題を解決するには、Internet Explorer 11 を 64 ビット モードで実行します。
- フォルダまたはサイズがゼロのファイルのダウンロードまたはアップロードはできません。
- iOS の Safari と Safari 8 では、アップロードもダウンロードもサポートしていません。Safari 9 以降では、ダウンロードをサポートしていません。
- リモート セッションでファイルを転送中に、別のリモート セッションとの接続を試みてセキュリティ警告が表示されたときに、この警告を無視してリモート セッションとの接続を続行すると、最初のセッションで実行中のファイル転送が中止されます。
- Internet Explorer 11 または Chromebook の Chrome でファイルをアップロードするときに、フォルダ、サイズがゼロのファイル、または 2 GB より大きいファイルのドラッグ アンド ドロップを行うと、予期したとおりエラー メッセージが表示されます。エラー メッセージを閉じた後は、転送可能なファイルのドラッグ アンド ドロップはできません。
- Linux リモート デスクトップまたは Android デバイスでは、この機能を使用できません。

リモート デスクトップまたは公開アプリケーションからクライアント システムへのファイルのダウンロード

リモート デスクトップまたは公開アプリケーションからクライアント システムにファイルをダウンロードできます。

Horizon 管理者は、この機能を無効にできます。

手順


- 1 リモート デスクトップまたは公開アプリケーションに接続します。
- 2 サイドバーを開くには、サイドバーのタブをクリックします。
- 3 サイドバーの上部にあるファイル転送アイコン  をクリックします。
[ファイルの転送] ウィンドウが開きます。
- 4 [ファイルの転送] ウィンドウで [ダウンロード] をクリックします。
- 5 ダウンロードするファイルを 1 つ以上選択します。
- 6 ファイルの転送を開始するには、Ctrl+c キーを押します。
[ファイルの転送] ウィンドウの [ダウンロード] タブにファイルが表示されます。
- 7 クライアント システムにファイルをダウンロードするには、ダウンロード アイコン（下矢印）をクリックします。
クライアント システムの Downloads フォルダにファイルが表示されます。

クライアント システムからリモート デスクトップまたは公開アプリケーションへのファイルのアップロード

クライアント システムからリモート デスクトップまたは公開アプリケーションにファイルをアップロードできません。

Horizon 管理者は、この機能を無効にできます。

手順

- 1 リモート デスクトップまたは公開アプリケーションに接続します。
- 2 サイドバーを開くには、サイドバーのタブをクリックします。
- 3 サイドバーの上部にあるファイル転送アイコン  をクリックします。
[ファイルの転送] ウィンドウが開きます。
- 4 ファイルをアップロードするには、ファイルをドラッグして [ファイルの転送] ウィンドウの [アップロード] タブにドロップします。あるいは、[アップロード] タブの [ファイルの選択] をクリックして、アップロードするファイルを選択します。
アップロードされたファイルが Documents フォルダに表示されます。

リモート デスクトップまたは公開アプリケーションからの印刷

リモート デスクトップまたは公開アプリケーションから、ネットワーク プリンタまたはローカル接続のプリンタで印刷することができます。

この機能を使用するには、管理者がリモート デスクトップまたは公開アプリケーションで VMware Integrated Printing 機能を有効にする必要があります。

VMware Integrated Printing 機能の印刷設定を行う

リモート デスクトップで VMware Integrated Printing 機能の印刷設定を行うことができます。VMware Integrated Printing 機能を使用すると、Windows リモート デスクトップに追加のプリンタ ドライバをインストールすることなく、リモート デスクトップからローカルまたはネットワーク プリンタを使用できます。この機能で、使用可能なプリンタごとに、データ圧縮、印刷品質、両面印刷、カラーなどの環境設定を行うことができます。

前提条件

VMware Integrated Printing を使用するには、Horizon 管理者がリモート デスクトップの VMware Integrated Printing 機能を有効にする必要があります。

リモート デスクトップに VMware Integrated Printing 機能がインストールされているかどうかを確認するには、リモート デスクトップのファイル システムに C:\Program Files\Common Files\VMware\Remote Experience\x64\vmware-print-redir-server.exe ファイルと C:\Program Files\Common Files\VMware\Remote Experience\x64\vmware-print-redir-service.exe ファイルが存在することを確認します。

手順

- 1 Windows リモート デスクトップで、[コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンタ] の順に移動します。
- 2 [デバイスとプリンタ] ウィンドウで仮想プリンタを右クリックし、コンテキスト メニューから [プリンタ プロパティ] を選択します。

シングル ユーザー仮想マシン デスクトップの場合、仮想プリンタは <printer_name>(vdi) と表示されます。デフォルトでは、公開デスクトップまたは公開アプリケーションで仮想プリンタが <printer_name>(v<session_ID>) と表示されます。
- 3 [全般] タブで、[環境設定] をクリックします。
- 4 [印刷設定] ダイアログ ボックスで、異なるタブを選択して使用する設定を指定します。
- 5 変更内容を保存するには、[OK] をクリックします。

DPI 同期の使用

DPI 同期機能により、リモート デスクトップまたは公開アプリケーションの DPI 設定とクライアント システムの DPI 設定が確実に一致します。

Horizon 管理者は DPI 同期機能を無効にできます。

DPI 同期を無効にすると、ディスプレイ スケーリングが使用されます。ディスプレイ スケーリング機能は、リモート デスクトップまたは公開アプリケーションを適切にスケーリングします。

解像度を手動で設定するときに、[高解像度モード] 設定を有効にできる場合があります。詳細については、[画面解像度の設定](#)を参照してください。

DPI 同期機能を使用するときのヒントを、次に説明します。

- クライアント システムで DPI 設定を変更しても、リモート デスクトップの DPI 設定が変わらない場合は、ログアウトしてから再度ログインして、クライアント システムの新しい DPI 設定を Horizon Client に認識させます。
- DPI 設定が 100 パーセント以上になっているクライアント システムでリモート セッションを開始してから、100 パーセント以上の異なる DPI 設定になっている別のクライアント システムで同じセッションを使用する場合、2 番目のクライアント システムで DPI を同期するには、2 番目のクライアント システムでログアウトしてからリモート セッションに再度ログインします。
- Windows 10 および Windows 8.x システムは異なるモニターで異なる DPI 設定をサポートしますが、HTML Access クライアント セッションの起動に使用された Web ブラウザがあるクライアント システムのモニターで設定された DPI 値が、DPI 同期機能で使用されます。HTML Access は、異なるモニターで異なる DPI 設定をサポートしません。
- 別の DPI 設定を使用して別のモニターと同期するには、リモート デスクトップまたは公開アプリケーションからログアウトし、HTML Access クライアント セッションの起動に使用された Web ブラウザを他のモニターにドラッグしてから、リモート デスクトップまたは公開アプリケーションに再ログインして、クライアント システムとリモート デスクトップや公開アプリケーションの DPI 設定を一致させます。

リモート デスクトップ セッションの共有

セッション共同作業機能を使用すると、他のユーザーを既存のリモート デスクトップ セッションに招待できます。この方法で共有されているリモート デスクトップ セッションは、共同作業セッションといいます。別のユーザーとセッションを共有するユーザーは、セッション所有者といいます。共有セッションに参加するユーザーはセッション共同作業者とといいます。

Horizon 管理者は、セッション共同作業機能を有効にする必要があります。

セッション共同作業機能が自社でどのように動作しているかについては、システム管理者に問い合わせてください。

リモート デスクトップ セッションに参加するユーザーの招待

セッション共同作業機能を使用する場合、E メールまたはインスタント メッセージ（Windows リモート デスクトップのみ）を送信するか、クリップボードにリンクをコピーしてユーザーに転送することで、ユーザーをリモート デスクトップ セッションに招待できます。

招待できるのは、サーバで認証可能なドメインのユーザーだけです。デフォルトでは、最大 5 人のユーザーを招待できます。Horizon 管理者は、招待できるユーザーの最大数を変更できます。

セッション共同作業機能には次の制限があります。

- 複数のモニターを使用している場合、プライマリ モニターにのみセッション共同作業者が表示されます。
- 共有するリモート デスクトップ セッションを作成するときに、VMware Blast 表示プロトコルを選択する必要があります。セッション共同作業機能は、PCoIP または RDP セッションに対応していません。
- 匿名で共同作業を行うことはできません。セッション共同作業者は、Horizon がサポートする認証メカニズムで識別可能でなければなりません。

- セッション共同作業者が Horizon Client 4.7 for Windows、Mac、または Linux をインストールしているか、HTML Access 4.7 以降を使用する必要があります。
- セッション共同作業者がサポート対象外の Horizon Client バージョンを使用している場合、共同作業のリンクをクリックすると、エラー メッセージが表示されます。
- セッション共同作業機能を使用して、公開されたアプリケーション セッションを共有できません。


前提条件

- セッション共同作業機能を有効にして設定する必要があります。
- 招待状を E メールで送信するには、E メール アプリケーションがインストールされている必要があります。
- Windows リモート デスクトップでの招待方法として IM を選択する場合は、Skype for Business をインストールして設定する必要があります。

手順

- 1 セッション共同作業機能が有効になっているリモート デスクトップに接続します。

VMware Blast 表示プロトコルを使用する必要があります。

- 2 リモート デスクトップのシステム トレイで、[VMware Horizon Collaboration] のアイコン（たとえば、）をクリックします。

共同作業のアイコンは、オペレーティング システムのバージョンによって異なる場合があります。

- 3 VMware Horizon Collaboration のダイアログ ボックスが開いたら、リモート デスクトップ セッションに参加するユーザーのユーザー名（たとえば、**testuser**、**domain\testuser**）またはメール アドレスを入力します。

特定のユーザーのユーザー名またはメール アドレスを初めて入力する場合には、[「user」の検索]をクリックしてカンマを入力するか、[Enter] キーを押してユーザーを検証する必要があります。Windows リモート デスクトップの場合、ユーザー名またはメール アドレスを次に入力したときに、セッション共同作業機能がユーザーを記憶します。

- 4 招待方法を選択します。

すべての招待方法が使用できるとは限りません。

オプション	アクション
E メール	共同作業の招待状をクリップボードにコピーし、デフォルトのメール アプリケーションで新しいメール メッセージを開きます。この方法で招待する場合には、メール アプリケーションがインストールされている必要があります。
IM	（Windows リモート デスクトップの場合のみ）共同作業の招待状をクリップボードにコピーし、Skype for Business で新しいウィンドウを開きます。Ctrl + V キーを押して、Skype for Business のウィンドウにリンクを貼り付けます。この方法で招待するには、Skype for Business がインストールされ、設定されている必要があります。
リンクのコピー	共同作業の招待状をクリップボードにコピーします。メモ帳などの別のアプリケーションを手動で開き、Ctrl + V キーを押して招待状を貼り付ける必要があります。

結果

招待状の送信後、VMware Horizon Collaboration のアイコンがデスクトップに表示され、セッション共同作業のユーザー インターフェイスがダッシュボードに変わり、共同作業セッションの現在の状態が表示されます。ここで、特定のアクションを実行できます。

セッション共同作業者が招待を受け入れ、Windows リモート デスクトップのセッションに参加すると、システムトレイの VMware Horizon Collaboration のアイコンが赤いドットで表示され、ユーザーの参加が通知されます。セッション共同作業者が招待を受け入れ、Linux リモート デスクトップのセッションに参加すると、プライマリ セッション デスクトップに通知が表示されます。

次のステップ

[VMware Horizon Collaboration] ダイアログ ボックスで、リモート デスクトップ セッションを管理します。共有リモート デスクトップ セッションの管理を参照してください。

共有リモート デスクトップ セッションの管理

招待状の送信後、共同作業セッションのユーザー インターフェイスがダッシュボードに変わり、共有リモート デスクトップ セッション（共同作業セッション）の現在の状態が表示されます。ここで、特定のアクションを実行できます。

Horizon 管理者は、別のセッション共同作業へのコントロールの移動を防ぐようにリモート デスクトップを設定できます。

前提条件

共同作業セッションを開始します。リモート デスクトップ セッションに参加するユーザーの招待を参照してください。

手順

- 1 リモート デスクトップで、システム トレイの [VMware Horizon Collaboration] アイコンをクリックします。
[名前] 列に、すべてのセッション共同作業者の名前が表示され、[ステータス] 列に共同作業者の状態が表示されます。
- 2 VMware Horizon セッション共同作業のダッシュボードを使用して、共同作業セッションを管理します。

オプション	アクション
招待を取り消すか、共同作業者を削除する	[ステータス] 列で [削除] をクリックします。
別のセッション共同作業者にコントロールを渡す	セッション共同作業者がセッションに参加した後、[コントロール] 列のスイッチを [オン] に切り替えます。 セッションの制御を再開するには、ダブルクリックするか、任意のキーを押します。セッション共同作業者は、[コントロール] 列のスイッチを [オフ] に切り替えるか、[コントロールを返す] ボタンをクリックすると、コントロールを返すことができます。

オプション	アクション
共同作業者を追加する	[共同作業者を追加] をクリックします。
共同作業セッションを終了する	[共同作業を終了] をクリックします。アクティブな共同作業者がすべて切断されます。 Windows リモート デスクトップでは、[VMware Horizon セッション共同作業] アイコンの横にある [停止] ボタンでも共同作業セッションを終了できます。Linux リモート デスクトップの場合、[停止] ボタンは使用できません。

リモート デスクトップ セッションへの参加

セッション共同作業機能を使用すると、共同作業の招待状のリンクをクリックして、リモート デスクトップ セッションに参加することができます。このリンクは、E メールやインスタント メッセージで提供される場合も、セッション オーナーから転送された文書に含まれている場合もあります。また、サーバにログインして、リモート デスクトップとアプリケーションの選択ウィンドウでセッションのアイコンをダブルクリックすることもできます。

ここでは、共同作業の招待状からリモート デスクトップ セッションに参加する方法について説明します。

セッション共同作業機能を使用してリモート デスクトップ セッションに参加する場合、リモート デスクトップ セッションで次の機能を使用することはできません。

- リアルタイム オーディオビデオ (RTAV)
- ロケーション ベースの印刷
- クリップボード リダイレクト

また、リモート デスクトップ セッションでリモート デスクトップの解像度を変更することはできません。

前提条件

セッション共同作業を使用してリモート デスクトップ セッションに参加するには、クライアント システムに Horizon Client 4.7 for Windows、Mac、または Linux がインストールされているか、HTML Access 4.7 以降を使用する必要があります。

手順

- 1 共同作業の招待状にあるリンクをクリックします。
クライアント システムで Horizon Client が開きます。
- 2 認証情報を入力して、Horizon Client にログインします。
認証に成功すると、共同作業セッションが開始し、セッション オーナーのリモート デスクトップが表示されます。セッション オーナーからマウスとキーボードのコントロールが渡されると、リモート デスクトップが使用できるようになります。
- 3 マウスとキーボードのコントロールをセッション オーナーに返すには、システム トレイにある [VMware Horizon Collaboration] アイコンをクリックします。[コントロール] 列のスイッチを [オフ] に切り替えるか、[コントロールを返す] ボタンをクリックします。
- 4 共同作業セッションを終了するには、サイドバーの [閉じる] をクリックします。

異なるクライアント デバイスでの公開アプリケーションの複数のセッションの使用

公開アプリケーションの複数セッション モードを有効にすると、異なるクライアント デバイスからサーバにログインしたときに、同じ公開アプリケーションの複数のセッションを使用できます。

たとえば、クライアント A で公開アプリケーションを複数セッション モードで開き、同じ公開アプリケーションをクライアント B で開くと、クライアント A で公開アプリケーションが開いたまま、クライアント B で公開アプリケーションの新しいセッションが開きます。複数セッション モードが無効になっている場合（単一セッション モードの場合）は、クライアント A の公開アプリケーションのセッションが切断され、クライアント B で再接続されます。

複数セッション モード機能には次の制限があります。

- Skype for Business など、複数のインスタンスをサポートしていないアプリケーションの場合、複数セッション モードは機能しません。
- 複数セッション モードで公開アプリケーションを使用しているときにアプリケーション セッションが切断されると、自動的にログアウトされ、未保存のデータは失われます。

前提条件

Horizon 管理者は、公開アプリケーションの複数セッション モードを有効にする必要があります。Horizon 管理者が許可しない限り、公開アプリケーションの複数セッション モードを有効にしたり、変更することはできません。

手順

- 1 サーバに接続します。
- 2 デスクトップとアプリケーションの選択ウィンドウの右上隅にある [設定] ツールバー ボタンをクリックします。[マルチ起動] 設定までスクロールし、[設定] をクリックします。

リモート デスクトップまたは公開アプリケーションを以前に開始した場合は、サイドバーにある [メニューを開く] ボタンをクリックし、[設定] をクリックして [マルチ起動] 設定までスクロールします。複数セッション モードで利用できる公開アプリケーションがない場合、[マルチ起動] 設定はグレーアウトされます。

- 3 複数セッション モードで使用する公開アプリケーションを選択して、[OK] をクリックします。

Horizon 管理者が公開アプリケーションに複数セッション モードを適用している場合、この設定を変更することはできません。

ショートカット キーの組み合わせ

使用する言語に関係なく、一部のキーの組み合わせはリモート デスクトップまたは公開アプリケーションに送信できません。

Web ブラウザによって、一部のキーおよびキーの組み合わせをクライアント システムおよび送付先システムの両方に送信することができます。他のキーおよびキーの組み合わせについては、ローカルでの入力だけが処理され、送付先システムには送信されません。システムで動作するキーの組み合わせは、ブラウザ ソフトウェア、クライアント オペレーティング システム、および言語設定によって異なります。

注： Mac を使用している場合、キーの組み合わせを使用して、テキストを選択、コピー、および貼り付ける場合に、Command キーを Windows の Ctrl キーにマッピングできます。この機能を有効にするには、サイドバーにある [[設定] ウィンドウを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[コマンド A、コマンド C、コマンド V、およびコマンド X を有効にする] をオンにします。このオプションは、Mac クライアント システムを使用している場合にのみ [設定] ウィンドウに表示されます。

以下のキーおよびキーの組み合わせは、リモート デスクトップで動作しない場合があります。

- Ctrl + T
- Ctrl + W
- Ctrl + N
- コマンド キー
- Alt + Enter
- Ctrl + Alt + 任意のキー

重要： Ctrl + Alt + Del キーを入力するには、サイドバーの先頭にある [Ctrl+Alt+Delete を送信] ツールバー ボタンを使用します。

- Caps Lock + *modifier_key* (Alt または Shift など)
- Chromebook のファンクション キー
- Windows キーの組み合わせ

リモート デスクトップで Windows キーを有効にした場合、リモート デスクトップで次の Windows キーの組み合わせが動作します。この機能を有効にするには、サイドバーにある [[設定] ウィンドウを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[デスクトップで Windows キーを有効にします] をオンにします。

重要： [デスクトップで Windows キーを有効にします] をオンにした後は、Ctrl + Win キー (Windows)、Ctrl + Command キー (Mac)、または Ctrl + Search キー (Chromebook) を押して Windows キーの押下をシミュレーションします。

これらのキーの組み合わせは、公開アプリケーションで動作しません。これらのキーの組み合わせは、Windows Server 2012 R2 と Windows Server 2016 のリモート デスクトップと公開デスクトップで動作します。

Windows 8.x や Windows Server 2012 R2 オペレーティング システムのリモート デスクトップで動作するいくつかのキーの組み合わせは、Windows 7 または Windows 10 オペレーティング システムのリモート デスクトップでは動作しません。

表 4-2. Windows 10 リモート デスクトップと Windows Server 2016 リモート デスクトップの Windows キー ショートカット

キー	アクション	制限
Win	スタートを開くまたは閉じます。	
Win + A	アクション センターを開きます。	
Win + E	ファイル エクスプローラーを開きます。	
Win + G	ゲームが開いているときに、ゲーム バーを開きます。	
Win + H	[共有] チャームを開きます。	
Win + I	[設定] チャームを開きます。	
Win + K	[接続] クイック アクションを開きます。	
Win + M	すべてのウィンドウを最小化します。	
Win + R	[ファイル名を指定して実行] ダイアログ ボックスを開きます。	
Win + S	[検索] を開きます。	
Win + X	[クイック リンク] メニューを開きます。	
Win + , (カンマ)	リモート デスクトップを一時的に表示します。	
Win + Pause	[システム プロパティ] ダイアログ ボックスを表示します。	Chromebooks や Mac には Pause キーはありません。
Win + Shift + M	リモート デスクトップで最小化されたウィンドウを元に戻します。	Safari では動作しません。
Win + Alt + 数字キー	リモート デスクトップを開いて、数字で示す位置にタスクバーでピン留めされているアプリケーションのジャンプ リストを開きます。	Chromebook では動作しません。
Win + Enter	ナレーターを開きます。	

表 4-3. Windows 8.x および Windows Server 2012 R2 リモート デスクトップの Windows キー ショートカット

キー	アクション	制限
Win + F1	Windows ヘルプとサポートを開きます。	Safari では動作しません。
Win	[スタート] ウィンドウを表示または非表示にします。	
Win + B	通知領域にフォーカスを設定します。	
Win + C	チャーム パネルを開きます。	
Win + D	リモート デスクトップを表示または非表示にします。	Safari では動作しません。Mac で Command-D キーを押します。
Win + E	ファイル エクスプローラーを開きます。	
Win + H	[共有] チャームを開きます。	
Win + I	[設定] チャームを開きます。	
Win + K	[デバイス] チャームを開きます。	
Win + M	すべてのウィンドウを最小化します。	
Win + Q	アプリケーションの検索がサポートされている場合、開いているアプリ内または任意の場所を検索するため、[検索] チャームを開きます。	
Win + R	[ファイル名を指定して実行] ダイアログ ボックスを開きます。	

表 4-3. Windows 8.x および Windows Server 2012 R2 リモート デスクトップの Windows キー ショートカット（続き）

キー	アクション	制限
Win + S	Windows と Web を検索するため、[検索] チャームを開きます。	
Win + X	[クイック リンク] メニューを開きます。	
Win + Z	アプリケーションで利用可能なコマンドを表示します。	
Win + , (カンマ)	このキーの組み合わせを押し続けている限り、リモート デスクトップを一時的に表示します。	Windows 2012 R2 オペレーティングシステムでは動作しません。
Win + Pause	[システム プロパティ] ダイアログ ボックスを表示します。	Chromebook と Mac には Pause キーがありません。
Win + Shift + M	リモート デスクトップで最小化されたウィンドウを元に戻します。	Safari では動作しません。Mac で Command-D キーを押します。
Win + Alt + 数字キー	リモート デスクトップを開いて、数字で示す位置にタスクバーでピン留めされているアプリケーションのジャンプ リストを開きます。	Chromebook では動作しません。
Win + 上向き矢印	ウィンドウを最大化します。	Chromebook では動作しません。
Win + 下向き矢印	画面から現在のアプリケーションを削除するか、リモート デスクトップのウィンドウを最小化します。	Chromebook では動作しません。
Win + 左向き矢印	アプリケーションまたはリモート デスクトップのウィンドウを画面の左側で最大化します。	Chromebook では動作しません。
Win + 右向き矢印	アプリケーションまたはリモート デスクトップのウィンドウを画面の右側で最大化します。	Chromebook では動作しません。
Win + Home	アクティブなリモート デスクトップのウィンドウ以外のすべてのウィンドウを最小化します (Win + Home キーをもう一度押すとすべてのウィンドウが元に戻ります)。	Safari ブラウザでは動作しません。
Win + Shift + 上向き矢印	リモート デスクトップのウィンドウを画面の上下にまで拡大します。	Chromebook では動作しません。
Win + Shift + 下向き矢印	Win + Shift + 上向き矢印キーを押した後に、幅を維持しながらリモート デスクトップのウィンドウの縦幅を元に戻します。または、アクティブなデスクトップ ウィンドウを最小化します。	Chromebook では動作しません。
Win + Enter	ナレーターを開きます。	

表 4-4. Windows 7 リモート デスクトップの Windows キーのショートカット

キー	アクション	制限
Win	[スタート] メニューを開くまたは閉じます。	
Win + Pause	[システム プロパティ] ダイアログ ボックスを表示します。	Chromebook と Mac には Pause キーがありません。
Win + D	リモート デスクトップを表示または非表示にします。	Safari では動作しません。Mac で Command-D キーを押します。
Win + M	すべてのウィンドウを最小化します。	
Win + E	Computer フォルダを開きます。	
Win + R	[ファイル名を指定して実行] ダイアログ ボックスを開きます。	
Win + 上向き矢印	ウィンドウを最大化します。	Chromebook では動作しません。

表 4-4. Windows 7 リモート デスクトップの Windows キーのショートカット（続き）

キー	アクション	制限
Win + 下向き矢印	ウィンドウを最小化します。	Chromebook では動作しません。
Win + 左向き矢印	アプリケーションまたはリモート デスクトップのウィンドウを左側で最大化します。	Chromebook では動作しません。
Win + 右向き矢印	アプリケーションまたはリモート デスクトップのウィンドウを右側で最大化します。	Chromebook では動作しません。
Win + Home	アクティブなリモート デスクトップのウィンドウを除くすべてのウィンドウを最小化します。	Safari では動作しません。
Win + Shift + 上向き矢印	リモート デスクトップのウィンドウを画面の上下にまで拡大します。	Chromebook では動作しません。
Win + G	実行中のリモート デスクトップ ガジェットを順に切り換えます。	
Win + U	[コンピューターの簡単操作センター]を開きます。	

リモート デスクトップと公開アプリケーションのサウンドの調整

デフォルトでは、リモート デスクトップおよびアプリケーションでの音声の再生が有効になっていますが、Horizon 管理者がポリシーを設定することで、音声の再生を無効にできます。リモート デスクトップや公開アプリケーションで音声を再生するときに、いくつかの制限が適用されます。

- 音量を上げるには、リモート デスクトップのサウンド コントロールではなく、クライアント システムのサウンド コントロールを使用します。
- 時々、音声ビデオと同期しなくなることがあります。
- ネットワーク トラフィックが集中していたり、ブラウザが大量のタスクを実行していると、音質が低下することがあります。使用するブラウザを変えると改善されることがあります。

外部デバイスの使用

5

リモート デスクトップと公開アプリケーションで、キーボード、ディスプレイ、マイクなどの外部デバイスを使用できます。

この章には、次のトピックが含まれています。

- [国際キーボード](#)
- [画面解像度の設定](#)
- [複数のモニターの使用](#)
- [Web カメラとマイクでリアルタイム オーディオ ビデオ機能を使用](#)

国際キーボード

英語以外のキーボードとロケールを使用している場合、クライアント システム、ブラウザおよびリモート デスクトップで特定の設定を使用する必要があります。一部の言語では、リモート デスクトップで IME (Input Method Editor) を使用する必要があります。

ローカル設定とインプット メソッドを正しくインストールすれば、以下の言語で文字を入力できます：英語、日本語、フランス語、ドイツ語、簡体字中国語、繁体字中国語、韓国語、およびスペイン語。

表 5-1. 必要な入力言語設定

言語	ローカル クライアント システムの入力言語	ローカル クライアント システムで IME が必要かどうか	リモート デスクトップのブラウザと入力言語	リモート デスクトップで IME は必要か
英語	英語	いいえ	英語	いいえ
フランス語	フランス語	いいえ	フランス語	いいえ
ドイツ語	ドイツ語	いいえ	ドイツ語	いいえ
簡体中国語	簡体中国語	英語入力モード	簡体中国語	はい
繁体中国語	繁体中国語	英語入力モード	繁体中国語	はい
日本語	日本語	英語入力モード	日本語	はい
韓国語	韓国語	英語入力モード	韓国語	はい
スペイン語	スペイン語	いいえ	スペイン語	いいえ

画面解像度の設定

HTML Access では、ブラウザ ウィンドウのサイズに合わせてリモート デスクトップのサイズを変更できます。この機能を使用するには、適切な量のビデオ RAM (VRAM) を使用するように、Horizon 管理者がリモート デスクトップを構成する必要があります。デフォルトの VRAM 構成は 36 MB です。3D アプリケーションを使用しない場合、VRAM の最小要件は 16 MB です。

Retina ディスプレイの MacBook や Google Chromebook Pixel など、ピクセル密度解像度が高いブラウザや Chrome デバイスを使用している場合は、その解像度を使用するようにリモート デスクトップや公開アプリケーションを設定できます。[設定] ウィンドウで [高解像度モード] オプションをオンにします。このウィンドウには、サイドバーからアクセスできます。このオプションが [設定] ウィンドウに表示されるのは、高解像度ディスプレイを使用しているか、通常の画面を 100% を超えるスケールで使用している場合だけです。

高解像度モード機能では、アクティブなリモート セッションの解像度を変更できません。機能を有効にするには、ログアウトしてからもう一度ログインする必要があります。

複数のモニターの使用

複数のモニターを使用して、リモート デスクトップ ウィンドウを表示できます。プライマリ モニターに最大で 1 台のモニターを追加して、接続している現在のリモート デスクトップ ウィンドウを表示できます。たとえば、3 台のモニターがある場合、リモート デスクトップ ウィンドウを 2 台のモニターにのみ表示するように指定できます。複数のモニターを設定する場合は、隣接するモニターを選択する必要があります。モニターを並べて配置するか、重ねて配置することができます。

前提条件

HTML Access は Chrome バージョン 55 以降で使用する必要があります。

手順

- 1 HTML Access を起動し、サーバにログインします。
- 2 デスクトップとアプリケーションの選択ウィンドウで、アクセスするリモート デスクトップのアイコンをクリックします。
- 3 サイドバーを開くには、サイドバーのタブをクリックします。
- 4 サイドバーの上部にある [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[マルチ モニター] を選択します。
- 5 [マルチ モニター] ウィンドウで、[ディスプレイの追加] をクリックします。

注： [ディスプレイ セレクタ] ブラウザ ウィンドウが表示されない場合は、ブラウザの [コンテンツの設定] ウィンドウの [ポップアップの例外] セクションにサーバの FQDN アドレスを追加します。

- 6 [ディスプレイ セレクタ] ブラウザ ウィンドウをドラッグして、使用する別のモニターのディスプレイに表示させます。

[ディスプレイ セレクタ] ブラウザ ウィンドウのメッセージが変わり、グレーの長方形のアイコンが表示されます。

- 7 現在のモニター ディスプレイを使用する場合は、[ディスプレイ セクタ] ブラウザ ウィンドウで、[+] モニター アイコンをクリックします。

他のディスプレイを待機しています というメッセージが、現在のモニター ディスプレイに表示され、プライマリ ディスプレイの [マルチ モニター] ウィンドウにあるグレーのモニター アイコンが緑色に変わります。

- 8 セッションで使用するモニター ディスプレイの追加が完了したら、[マルチ モニター] ウィンドウで [OK] をクリックします。

[マルチ モニター] ウィンドウが閉じます。プライマリではないモニターのディスプレイで「他のディスプレイを待機しています」というメッセージがクリアされ、リモート デスクトップ ウィンドウが表示されます。

- 9 マルチ ディスプレイ モードを終了するには、Esc キーを押して、[マルチ ディスプレイ モードの終了] ダイアログ ボックスで [はい] をクリックして、終了することを確認します。

注： リモート デスクトップで Esc キーを使用するには、サイドバー タブを開き、サイドバーの上部にある [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[ESC の送信] を選択します。

Web カメラとマイクでリアルタイム オーディオ ビデオ機能を使用

リアルタイム オーディオビデオ機能を使用すれば、リモート デスクトップまたは公開アプリケーションでクライアント マシンの Web カメラまたはマイクを使用できます。リアルタイム オーディオ ビデオは、標準的な会議アプリケーションおよびブラウザベースのビデオ アプリケーションと互換性があり、標準的な webcam、オーディオ USB デバイス、およびアナログ オーディオ入力をサポートします。

リアルタイム オーディオビデオは、Chrome、Microsoft Edge、および Firefox でのみサポートされます。デフォルトのビデオ解像度は 320 x 240 ピクセルです。リアルタイム オーディオビデオのデフォルト設定は、ほとんどの Web カメラおよびオーディオ アプリケーションで適切に機能します。

リモート デスクトップや公開アプリケーションがクライアント マシンの Web カメラやマイクに接続している場合、Web カメラやマイクがリモート デスクトップや公開アプリケーションで使用できるようになる前に、ブラウザから許可を求められる場合があります。この動作はブラウザによって異なります。

- Microsoft Edge は毎回許可を要求します。この動作は変更できません。詳細については、<https://blogs.windows.com/msedgedev/2015/05/13/announcing-media-capture-functionality-in-microsoft-edge> を参照してください。
- Firefox は毎回許可を要求してきます。この動作は変更できます。詳細については、<https://support.mozilla.org/en-US/kb/permissions-manager-give-ability-store-passwords-set-cookies-more?redirectlocale=en-US&redirectslug=how-do-i-manage-website-permissions> を参照してください。
- Chrome は、初回に許可を要求します。デバイスの使用を許可すると、Chrome は再度許可を要求しなくなります。

リモート デスクトップがクライアント マシンの Web カメラまたはマイクロフォンに接続されると、各デバイスのアイコンがサイド バーの上部に表示されます。サイドバーのデバイス アイコンの上に赤色のクエスチョン マークが表示され、許可が要求されていることが示されます。デバイスの使用を許可すると、赤色のクエスチョン マークは非表示になります。許可の要求を拒否すると、デバイスのアイコンが非表示になります。

リモート デスクトップや公開アプリケーションのセッションでリアルタイム オーディオビデオを使用しており、セカンド デスクトップや公開アプリケーションへの接続するときに、セキュリティの警告が表示される場合（たとえば、有効な証明書がインストールされていないなど）、この警告を無視して 2 番目のリモート デスクトップや公開アプリケーションへの接続を続行すると、最初のセッションでリアルタイム オーディオビデオの動作が停止します。

Horizon Client のトラブルシューティング

6

Horizon Client の大部分の問題は、リモート デスクトップや公開アプリケーションをリセットするか、Horizon Client を再インストールすると解決できます。

この章には、次のトピックが含まれています。

- リモート デスクトップの再起動
- リモート デスクトップまたは公開アプリケーションのリセット

リモート デスクトップの再起動

リモート デスクトップのオペレーティング システムが応答しない場合、リモート デスクトップの再起動が必要になることがあります。リモート デスクトップの再起動は、Windows オペレーティング システムの再起動コマンドと似ています。通常、リモート デスクトップのオペレーティング システムは、再起動の前に未保存データを保存するように求めます。

Horizon 管理者がリモート デスクトップの再起動機能を有効にしている場合にのみ、リモート デスクトップを再起動できます。

手順

- ◆ [再起動] コマンドを使用します。

オプション	アクション
サイドバーから	リモート デスクトップに接続しているときに、サイドバーの [実行中] リストにあるリモート デスクトップ名の横の [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[再起動] を選択します。
URI の使用	デスクトップを再起動するには、URI <code>https://ConnectionServerFQDN?desktopId=desktop_name&action=restart</code> を使用します。

結果

リモート デスクトップのオペレーティング システムが再起動し、Horizon Client がリモート デスクトップから切断され、ログオフされます。

次のステップ

システムが完全に再起動するまで待機してから、リモート デスクトップへの再接続します。

リモート デスクトップを再起動しても問題が解決しない場合、リモート デスクトップをリセットする必要がある場合があります。[リモート デスクトップまたは公開アプリケーションのリセット](#)を参照してください。

リモート デスクトップまたは公開アプリケーションのリセット

デスクトップ オペレーティング システムが応答を停止し、リモート デスクトップを再起動しても問題が解決しない場合は、リモート デスクトップをリセットする必要がある場合があります。

リモート デスクトップをリセットする操作は、物理的な PC を強制的に再起動するときに PC のリセット ボタンを押す操作と同じです。リモート デスクトップで開いているすべてのファイルが閉じられますが、保存されません。

公開アプリケーションをリセットすると、開いているすべてのアプリケーションが終了します。

公開アプリケーションをリセットすると、未保存のデータを保存せずにアプリケーションを終了します。開いているすべての公開アプリケーションが終了します。

Horizon 管理者がリモート デスクトップのリセット機能を有効にしている場合にのみ、リモート デスクトップをリセットできます。

手順

- ◆ [リセット] コマンドを使用します。

オプション	アクション
アプリケーションの選択ウィンドウから公開アプリケーションをリセットする	リモート デスクトップや公開アプリケーションに接続する前に、デスクトップとアプリケーションの選択ウィンドウから、実行中のすべての公開アプリケーションをリセットするには、画面の右上にある [設定] ツールバー ボタンをクリックして、[リセット] をクリックします。
サイドバーからリモート デスクトップをリセットする	リモート デスクトップに接続しているときに、サイドバーの [実行中] リストにあるデスクトップ名の横の [メニューを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[リセット] を選択します。
サイドバーから公開アプリケーションをリセットする	実行中のすべてのアプリケーションをリセットするには、サイドバーの上部にある [[設定] ウィンドウを開く] ツールバー ボタンをクリックして、[リセット] をクリックします。
URI を使用したリモート デスクトップのリセット	リモート デスクトップをリセットするには、URI <code>https://ConnectionServerFQDN?desktopId=desktop_name&action=reset</code> を使用します。

結果

リモート デスクトップをリセットすると、リモート デスクトップのオペレーティング システムが再起動し、Horizon Client がリモート デスクトップから切断され、ログオフされます。公開アプリケーションをリセットすると、そのアプリケーションは終了します。

次のステップ

システムが完全に再起動するまで待機してから、リモート デスクトップや公開アプリケーションに再接続します。